

進スルハ決シテ旅團司令部ヲ幸地西南方ニ科四又路上陵地帯ニ推進スルコトナリ
旅團通信ノ主力各指揮砲一部先發ス
吾等未明独混ヲ十五解隊攻撃前進ス
旅團司令部予定地ハオ線部隊ニテシテ戰況上其ノ前進不適當ニシテ依
然首尾ニ在レテ決ス此日我々空軍地上戰鬥ニ直接協力スルヲ全員待望
シテ一モ隊ニ其ノ受安ヲ見ス
京増參謀八傳今一ヲ幸中自ヲオ線部隊ノ狀況ヲ視察シ幸地附近ニ
進出敵ノ狙撃ヲ受ケタリ刻復歸シ有力ニ狀況判斷ヲ進言アリタリ

四總攻撃中止ヨリ島尻轉進シノ概要 自五月五日

吾等吾等章ノ攻撃ヲ續行セシカ急激ニ其ノ戰力ヲ損耗シイテ敵ノ本土決戰
ヲ促進スルヲ以テ再々持スルニ決シタリ刻々攻撃中止ニ態勢ヲ整備セシメラル
旅團八章ノ左オ線トナリ首尾ニ合シテ以西地ニ防備ニ任ズ 平賀部隊ヲ
松之平支隊(天ス)ハ指揮下ニ入レ長隊大隊隊ハオ線ニ師團長指揮下ニ入リ

澤地ニ向テ前進ス 旅團ハ独混ヲ十五解隊司令部松川ヲ以テ右地ニ隊トナシオ線ニ師團
ト連繫シ米吉眞嘉比等處ヲ堅固陣地ト領セシメ平賀部隊(本部重砲)ヲ以テ
左地區隊トナシ安謝天スヲ以テ敵ノ突破ニ備(那霸沿岸ヲ以テスル敵上陸ヲ
封殺セシム)独之東射砲ヲ六大隊ハ右地區隊長ノ指揮下ニ旅團砲兵主
力ハ中隊向旅團ニ兵ハ一部ヲ以テ右地區隊ニ協力セシメ其ノ主力ヲ強名ニ配置ス
旅團ハ進者ノ收容所ヲ強名用敵シ又防衛召集者ヲ以テ編成シ重砲隊
全カヲ以テ物資集積所ナル島尻部ヲ敵ヲ彈藥糧秣ノ輸送ニ任セシム
五月七日朝迄ニ概シテ新配備ヲ完了ス
五月八日日内向ヲ奪取セラレ敵ノ安謝川ノ渡ヲ準備ヲ開始ス
風部隊(航空隊)通信機備中隊独之高射砲ヲ六大隊ハ松川ニ於テ旅團
指揮下ニ入ル
五月十日旅團当面ノ敵ハ海兵オ線師團ニシテ安謝川ヲ突破シ天久台地ノ独ヲ
ニ大隊ハ其ノ損傷ヲ受ケ
五月十三日終日天久西オ線一高橋中一崇元寺町一安里北方五ニ高地一眞嘉

此西北高地附近ヲ確保シ敵侵透ヲ阻止ス 海軍丸山大隊及田中大隊旅
團ヲ指揮下ニ入り丸山大隊ハ紫田川沿テ旅團直轄トナリ田中大隊ハ右地区隊長
指揮下ニ入り旅團二兵ノ主力ヲ松川南方台地ニ配置ス
五月十日以後敵高圧ハ依然天入りヲ那覇市北側ニ指向セラレ独之ヲ大隊ハ
三自墳嶺滅ス海軍伊藤大隊及自撃砲隊ヲ指揮スラシメラレ左西地区隊長ノ接降
部ニ投入ス連日挺身斬込又撃夜襲ヲ強行シ敵多ク出血ヲ強要ス我亦亦一隊兵
クノ損耗果増ス特ニ中軍北方高地ノ爭奪ハ接降ヲ極メ野隊大隊長ハ自ラ台
上ニ迄テ輕械腰打射撃ヲ行ハ敵ニ甚大ナル損傷ヲ與ヘテ之ヲ撃退シ其ノ爭奪數
日ニ及ビ此頃中一隊ノ手榴彈自撃砲彈等彈藥糧秣ノ欠乏甚クシテ独
之輸送大隊ヲ大隊(形相戦隊)改編セラルルヲ配属セラルルニ感列ナル彈西下
遠ノ米數旅團物資集積所(小銃海軍)ヲ運搬補給スル特ニ夜間ニ限ラレ極
メテ困難ナリ又敵ハ區區那覇市北側進出シ此頃独混中十五聯隊中二大
隊海軍田中大隊潰滅ス

五月十日平賀部隊其ノ本部馬場大撃ヲ受テ無線連絡ヲ杜絶ス

五月二十日軍ハ島尻南端ヲ轉進シ飽ヲ迄持テ策定スル決シテ旅團八軍司令部
轉進ヲ援護セシメラル 旅團司令部ハ轉進地ヲ轉進ス
旅團ハ海軍丸山大隊ヲ紫田川沿テ配置シ濁混中十五聯隊一大隊ヲ馬場南方
白土平線陣地ニ據ラシメ主力ヲ轉進ヲ援護セシムル共ニ風邪隊ヲ新設三別隊
ニシテ旅團主力ノ負志頭一安里ノ入重嶺嶺一五五高地附近ノ展開ヲ援護セシ
五月二十日夜半旅團長ハ長堂ニ到リ脱出セル平賀部隊ト云ス

五島尻轉進後ノ戰鬥經過ノ概要

自五月一日
至五月十日

五月一日旅團司令部ハ平賀ノ如ク仲座西南方一軒ノハ高地ニ轉進旅團主
力モ亦同月三日拂曉迄ニ概テ新配置ヲ完了ス
旅團八軍右中隊ノ一隊ヲ獨混中十五聯隊ヲ右地区隊長トシ負志頭一安里北方白
土平賀部隊ヲ左地区隊長トシ入重嶺嶺一五五高地附近ニ旅團砲兵隊ハ仲座六
九也高地附近ニ配置ス 独之連射砲ヲ大隊旅團二兵隊右地区隊長ハ海軍
丸山大隊ハ左地区隊長ヲ指揮スラシム

新ニ指揮下ニ入ル船舶團司令部各轄下ニ復歸シ長崎大隊ハ直轄トシテ押
座ニ位置セム

才線兵力ハ既ニ大ナル損傷ヲ受テアリ即五才于日現在ニ於ケル其兵力左如シ

☆ 二五〇 右地区隊 五〇〇 左地区隊 一〇〇〇

直轄 一〇五〇 輸送隊 一〇〇〇

右兵力ハ島尻轉運送ニ更ニ大ナル損傷ヲ受テ軍後方部隊ノ人員ヲ補
充セラレタル既ニ對戰車大砲重砲應用機雷等殆皆無シ狀態ニテ旅團砲兵
亦當初十榴ハ内彈藥ハ〇〇發)ノ内三内(彈藥一〇〇發)ヲ残存ス過ク
〇月吾敵約〇〇且其頭ニ進出セモ之ヲ擊退ス

〇月〇日白砲三山彈藥數發ヲ殘シアリタル地進入降其ノ内ヲ破壊セラレテ

臼砲部隊ヲ指揮下ニ入ラシメラレ中地区隊トシテ才一彈ニ投入ス

〇月〇日頃左地区隊ト連絡全ク杜絶ス

〇月〇日中地区隊ト連絡杜絶ス

〇月〇日昨座旅團砲兵隊本部戰車大砲攻撃ヲ受テ

〇月〇日以降才ノ二師團殘存兵力ヲ逐次投入セシメラルモ既ニ其効ナシ

〇月〇日長崎大隊本部戰車大砲攻撃ヲ受テ又八島地北正面帶ニ戰車米

十數輛進出旅團司令部ハ戰車三輛ニテ攻撃ヲ受テ

旅團長ハ殘存兵力ノ總テヲ率テ軍中總攻撃ヲ決意セラルモ軍司令部ニ基テ摩又仁

ハ九島(軍司令部位置)ニ轉進スルト決ス

〇月〇日佛曉先ト摩又仁ノ真榮平リ仲座如又路西南側台ニ轉ジ

〇月〇日早朝摩又仁ハ九島地南側海岸ニ轉進ス 轉進ノ際先義人員ハ遂ニ掌

握スルに至ラス司令部半滅ス

〇月〇日軍司令部及參謀長自決セラレ旅團長ハ豫テ軍司令部ト決意ニ基

テ頭ニ設置セリ遊撃隊ヲ指揮スヘク決意セラレ最後ノ刻示ヲナスト共ニ斬

隊ヲ編成シ遂次頭ニ集結スヘク命ジラル後司令部ヲ編成ヲ解カル

〇 戦 状

独之混成中隊ハ旅團司令部附近ノ戦斗ニ於テ勇奮力

斗敵海兵才師團ヲ壞滅シタルヲ以テ二月九日軍司令部ニ感狀ヲ授與セ
ル 感狀授與部隊左ノ如ク

独之混成第廿五聯隊

旅團砲兵隊

旅團工兵隊

独之才一大隊

独之速射砲才一大隊

独之高射砲第廿八大隊

風部隊

海軍田口大隊

海軍丸山大隊

海軍伊藤大隊

田淵
山口

附録一 独之混成第廿四旅團編成ノ概要

旅團司令部ハ昭和十九年五月廿三日軍擔任ヲ沖繩ニ於テ編成第廿五兵隊
第廿五兵隊旅團砲兵隊旅團工兵隊ハ第廿師團管下ニ置於テ昭和十九年
七月初旬編成セラル

旅團主力ハ沖繩ニ向テ途次昭和十九年六月二十九日セバロ翰送船島丸ハ
敵潜水艦ノ襲撃及撃沈ニテ撃沈セラル殘存者三ノ一ニ滿テザルヲ殘存
者ヲ以テ假編成工部隊ヲ編成ス八月下旬補充人員到着ト九月沖繩
ニ於テ現地召集シテ第廿五兵隊旅團砲兵隊旅團工兵隊ノ編成ヲ結ス
独之混成第廿五聯隊ハ島丸ノ遭難ニ依リ七月初旬急遽空輸セラル本島
到着ト同時ニ旅團ノ指揮下ニ入リ九月其ノ隷下ニ入ラシメラル

附録二 作戰上旅團ノ不利トナリタル事項

1. 附録一ノ如ク旅團編成当初ノ事故ハ必然的ニ素質不良ナル補充將兵ニテ
補充有形無形上大ナル影響ヲ蒙リ

2. 作戰經過概要ニモル也。旅團作戰準備期間並度ニ及不移動ヲナシ、
之島尻東半部ニ於テ嚴密ニ存在シ敵ヲテ南方ヨリ東動ヲ免封シタルト云
ハ主戦斗ヲ固有ノ陣地ヲ捨テ首尾戰線轉戦シテ結果ニ年間作戰準備
ハ結果論的ニ云ハ全ク要ス等シ。尚兵團ノ移動頻繁ニ爲物資輸送ノ陣地構
築ニ進シ新編部隊ニ拘ラズ訓練充テラガレハ大ナル不利トス。

3. 主戦斗ニ於テ眞ノ棘崖部隊ハ混十五軒隊(歩兵三大隊旅團砲兵隊旅
團三兵隊)ニテ部隊ニシテ他ハ全ク素質不明ナル臨時配属部隊ナリト大ナル不利トス。

4. 旅團司令部ノ編成通信編成弱小ナルハ大ナル不利トス。

即チ司令部固有ノ編成旅團長一高級部員一副官一部隊一通信班等一主
計一軍醫一ニシテ通信ハ下士官五兵ニシテ有線ナシ右ノ編成ハ司令部
ノ機能發揮ニ大ナル不利ヲ生セリ。

